

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2022 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥3,000,000
	事業名	ウクライナ避難者への緊急支援・定住支援		
	団体名	NPO法人アルペなんみんセンター		
	実施期間	2022/7/1 ～ 2023/6/30		
ウクライナからの避難者(5月末現在2名、増加可能性あり)を受け入れ、緊急支援としてシェルター(衣食住医療)を提供し、必要に応じて通訳を手配し、行政、地域コミュニティ団体等とも連携して、安心して定住するために必要なサポートを行う。				

2022 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	難民シェルター発「誰も取り残さない多文化共生社会」の担い手		
	団体名	NPO法人 アルペなんみんセンター		
	実施期間	2022/10/1 ～ 2023/9/30		
地域社会の構成員の多様化が進んでおり、多文化共生社会の必要が叫ばれて久しいが、難民・避難民はいまだ社会の片隅に追いやられている。難民シェルターとして、地域に根差した多文化共生コミュニティを築いてきた当センターの活動をより多くの方々に伝え、共生社会の一員である難民・避難民との交流・協働を体験いただくことを通じて、共生社会の担い手を育成する。				

2022 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	県内在日外国人と障害者の「つながり」事業		
	団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2022年10月 ～ 2023年9月		
県西部の在日外国人や障害者の交流の場は県内全体の中で少なく、さらにコロナ禍実施するのが難しい。2022年度は昨年に引き続き多文化料理・ユニバーサルスポーツ体験型交流の機会をつくり、県内の在日外国人や障害者、国際交流・障害者支援団体、バリアのない社会づくりを支援する県内の団体と協力するために、「ミントキャラバン」を行い、情報交換とネットワーク作りを行い、県内外国人や障害者と県民が「心を寄せ合いつながる」多文化共生社会の基盤を築く。				

2022 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	秦野市及びその周辺地域における外国につながる未就学児及びその家族に対する支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人光の子どもたちの会		
	実施期間	2022年10月1日 ～ 2023年9月30日		
現在、外国につながる子どもやその家族が抱える言語や親子間、社会文化の差異の問題は深刻である。そこで秦野市及びその周辺地域において、外国につながる未就学児及びその家族を対象とした問題や課題の改善を目的とした定期的な相談や幼児クラスの開催などをおこない、地域住民に周知を図り理解を深めるとともに、相談会、幼児クラス、イベントを実施する。				

2022 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながる子どもたちへの学習支援～洋光台室の開校準備と開校、運営		
	団体名	多文化共生スポット ワールドキッズ		
	実施期間	2022年10月1日 ～ 2023年9月31日		
学習支援を必要とする外国につながる子どもたちは、磯子区でここ5年くらい大変増えてきました。ここ3、4年で国際教室を開講された小中学校が多くあります。そのような中で、磯子区にある洋光台にある四つの小学校で三校、二つある中学校の中で一校、国際教室があります。現在は根岸にあるコミュニティハウスで学習支援をしているが、洋光台から来るのはなかなか大変なので、洋光台で教室を開講する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2022 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	日本語教室カフェ開設事業		
	団体名	霧が丘ぷらっとほーむ		
	実施期間	2022/10/01 ～ 2023/09/30		
気軽に日本語が学べる教室をオープンする。その日本語教室を通じて外国人の悩みを聞き相談にのる場を地域につくる。地域にお住いの日本人の相談にものる。お互いの悩みが確認でき、時にはそんな相談から必要だと思われる生活セミナーを年に1、2回程度実施する。				

2021 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	県内イラン人の多文化共生チャレンジ事業		
	団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2021年10月 ～ 2022年9月		
県内の多文化共生活動をアピールする機会は徐々に増えているが、イラン人コミュニティの活動を県民に知らせ体験型交流を行う機会は少なく、重要である。交流体験を実施する事を目的として①多文化共生カレンダーの作成・配布②ペルシャ料理とエプロんづくり体験③バリアフリーウォークラリーとユニバーサルスポーツ体験を行ない交流を深め、県内イラン人と県民が楽しくチャレンジし多文化共生の意識を高める。				

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりのはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2021/10/1 ～ 2022/9/30		
①大人の日本語教室と子どもの学習支援教室を実施し、その中で生まれた支援者と学習者の関係性をさらに深化・発展させるために、外国人当事者の「語り」を聞き取り、デジタル作品として仕上げて発表する活動を新たに実行する。②このイベントの企画、実践をきっかけに、日本語支援・外国人支援の活動を行っている神奈川県西部地域の他グループとのつながり、連携を強化する。				

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	日本語教室カフェ事業		
	団体名	霧が丘インターナショナルコミュニティ		
	実施期間	2021/10/01 ～ 2022/09/30		
	気軽に日本語を学べる教室をオープンする。その日本語教室を通じて外国人の悩みを聞き相談にのる場を地域につくる。お互いの悩みを確認でき、時にはそのような相談からニーズを把握し必要なセミナーを開催する。			

2021 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	学習支援、居場所、食事提供を兼ねた「ひろば」の運営		
	団体名	ユッカの会		
	実施期間	2021/10/1 ～ 2022/9/30		
食生活の貧困が見える子どもを含む子どもたちが集い、ユッカの会や地域のボランティアと学習し、団欒の中で夕飯を食べて帰る「ひろば」活動を横浜市栄区の地球市民かながわプラザで実施する。				
食事は、営業許可のあるレストランで そのスタッフ監修のもと、地域の人たちや子どもの保護者に協力してもらいながら提供する				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2020 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥720,000
	事業名	在日イラン人の新型コロナ感染症対策プロジェクト		
	団体名	NPO イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2020/7/22 ～ 2021/3/31		
①神奈川県内の在日イラン人と日本人約10名が参加、神奈川県秦野市内でコロナ感染対策のワークショップを実施(8月基礎編・9月応用編)②神奈川県内在住の在日外国人約5名が2020年8月～2020年12月マスクを約300枚作成、県内の障害者や外国人に配布し感染予防の啓発活動をする。③①の活動を動画にして、コロナ感染症対策のDVDを作成し感染予防の広報活動を実施(日本語版・ペルシャ語版を作成しイランでも活用)				

2020 年度	事業区分	民際協力アドバンスト・プログラム	助成額	¥1,000,000
	事業名	韓国の自活事業団体と神奈川の地域団体をつなぎ、地域住民が草の根レベルで生活困窮支援を行う経験交流		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
	韓国の団体「慶南地域自活センター」が行っている生活困窮者自身が事業を立ち上げる事で貧困問題を解決する、という先進的な活動の経験を、神奈川県を中心とした地域連携団体や地域市民へ、民際交流を通じて共有することで、韓国と日本の市民同士の連携を強化するとともに、双方が地域資源を生かした課題解決能力を向上させることを目指す。			

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりのはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
神奈川県西部地域の秦野市・伊勢原市および周辺市町村において、外国に繋がる子ども・若者が日本で生きていく力を獲得し、自立生活を営んでいくことを目的に、外国につながる子どもの学習支援教室、保護者たちの日本語学習教室、学習者と支援者の交流会を展開する。				

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥133,916
	事業名	外国人生徒のための進路支援事業		
	団体名	多文化ユースプロジェクト		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
多文化ユースプロジェクトは多様な背景をもつ若者のネットワークを作り、外国につながる子どもたちの進路や学習支援を行う団体である。また、多文化共生を目指して、社会に対する発信も活動の一環として行っている。このプロジェクトは外国につながる若者たち(高校生、大学生、大学院生など)が主体となって、神奈川を中心に活動している。				

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	外国人保護者の子育て支援事業—Kindy Support		
	団体名	NPO法人 Sharing Caring Culture		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
外国籍家族が集住しておらず転出入も多い横浜市青葉区、都筑区において、特に在住歴が浅く、日本語でのコミュニケーションが難しい子育て世代の外国籍家族が孤立せずに生活できるように、主に未就学児を育てている外国人や日本人の母親が集い、子育てに関する悩みを共有するOYACO's Roomを開催する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2020 年度	事業区分	多文化共生ステップアップ・プログラム	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送る為の、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2020/10/1 ～ 2021/9/30		
	電話や携帯のメッセージでムスリムの女性から質問や相談を受けたり、希望者には直接家を訪問して相談をうける。 必要であれば、病院や市役所その他の施設に同行支援を行う。			

2019 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥415,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育 ～観察力・論理的思考力・対話力を高めるために～		
	団体名	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
「絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育」3年目の事業として、この活動を広めるための報告会を開催する。また教材内容をさらに検討し、更なる活動内容の充実化を図るために、図書館との連携、研修会を実施。特に難しいと考える小学校中学年(3・4年生)の教材となりうる絵本の情報を得る。教室の運営は、前年通り大和市の小学校2校で行い、「絵から始める日本語教室」で、子どもたちが自分の考えを日本語で表現できるようになるサポートをする。				

2019 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥178,977
	事業名	組織の自立を目指した支援者・会員・寄付確保のための広報活動の充実		
	団体名	特定非営利活動法人 リンク トゥ ミャンマー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
神奈川県と関係の深い在日ミャンマー人を対象とした電話や面談による相談事業等を進める同会の支援者の拡大と安定した財政基盤づくりをおこなう。				
ウェブサイトの充実、インターネットでの広告、インターネットを通じた資金と会員・ボランティア集め、SNSの活用、イベントへの参加、ニュースレターの発行、団体パンフレットの配布などをおこない、団体の知名度を高め、共感を集める。				

2019 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥200,000
	事業名	彩とりどりのはだの共生プロジェクト		
	団体名	はだの子ども支援プロジェクト「ゆう」		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
	神奈川県西部地域の秦野市・伊勢原市および周辺市町村において、外国に繋がる子ども・若者やその保護者に日本語力と日本特有の様々なシステム・慣習に起因する困難により、日本での生活を営みにくい状況が生まれている。 そこで、これまででは、公民館における子どもの学習支援を主としてきたが、新たに外国に繋がる世帯が日本で生きていく力を獲得し、自立生活を営んでいくことを目的に、①外国に繋がる子どもの日本語学習、②外国に繋がる世帯の保護者の日本語学習と交流会、③外国に繋がる世帯の状況を伝え、理解者から協力者になり、多様な地域の互助・共助を形成することを目指す。			

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国籍家族の子育て応援プロジェクト		
	団体名	NPO法人 Sharing Caring Culture		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
外国籍家族が集住しておらず転出入も多い横浜市青葉区、都筑区において、特に在住歴が浅く、日本語でのコミュニケーションが難しい子育て世代の外国籍家族が孤立せずに生活できるように、地域の外国人親子と日本人親子が出会う場として、英語での歌、手遊び、工作、読み聞かせを行う親子交流会の実施、言語教育や小児医療などに関する英語セミナーなどの開催、子育て関連の情報支援を行うことなどにより、地域の中で関係性が築かれる機会を創出する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人生徒のための進路支援事業		
	団体名	多文化ユースプロジェクト		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
国内2番目に外国人児童生徒が多い県として知られている神奈川の子供たちの高校入学後の進路を把握し、外国につながる若者(多文化ユース)のネットワークを構築する。多文化ユースの先輩としての経験を活かし後輩に還元、日本社会に自分たちの存在を積極的に発信して、より緩やかでカラフルな社会づくりを目指す。				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人の居場所づくり事業		
	団体名	NPO法人外国人支援ネットワークすたんどばいみー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
外国人多住地域である県営いちょう団地などで、外国にルーツを持つ青少年を対象に、①ロールモデルと出会うきっかけづくりのお話会、②保護者に対して、通訳や翻訳資料、学校生活に関する翻訳された「ゆびさしイラスト集」を作成・配布をおこない、事業の周知のためのPR活動も行う。				

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送る為の、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
	家族の男性なしでは外出ができず、日中を家の中だけで過ごすなど習慣の違いから生じる日常生活の問題の多いイスラム女性たちを対象に、生活に関わる同行、訪問、相談支援を行い、また、交流会等を通じてイスラム女性たちが日本になじみ、日本での暮らしが円滑で生き生きと送れるよう支援する。			

2019 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談及び支援		
	団体名	特定非営利活動法人 リンク トウ ミャンマー		
	実施期間	2019/10/1 ～ 2020/9/30		
神奈川県在住、就労など同県と関係の深い在日ミャンマー人を対象とし、民族や出自を問わず、問題発生時に電話や面談を通してミャンマー語や日本語で相談に乗る。通訳者の手配、同行支援、他支援機関との連携などをおこない、年間約200件の相談に対応する予定。活動内容の報告や広報も行う。				

2018 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥519,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある若者」たちが、来日間もないフィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を中心に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2018 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥500,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育～観察力・論理的思考力・対話力を高める為に～		
	団体名	特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
外国につながるのある子どもたちを対象に、「絵」を題材にした日本語教育の指導方法や教材の作成を行い、大和市内の小学校及び自主運営の日本語教室で実践することで、子どもたちの思考力に働きかけ、観察力を育て、論理的思考を促し、自分の考えを創造できる場をつくることを目的とする。				

2018 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥185,000
	事業名	組織の自立を目指した支援者・会員・寄付確保のための広報活動の充実		
	団体名	特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
当団体は設立2年目。組織を自立させ事業の継続実施を可能にするために、団体と事業の広報活動を徹底して行い、支援者の拡大と安定した財政基盤を作り上げる。ウェブサイトの充実、インターネットでの広告、インターネットを通じた資金と会員・ボランティア集め、SNSの活用、ウェブサイトの充実、ニュースレターの発行、団体パンフレットの配布など通して団体の知名度を高め、共感を集めていく。				

2018 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談および支援		
	団体名	特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
神奈川県在住、就労など同県と関係の深い在日ミャンマー人を対象として、民族や出自を問わず、問題発生時に電話や面談を通して、ミャンマー語や日本語で生活相談・支援事業を継続し、彼らが安心して自立した暮らしを営めるようになることを目指す。また需要の高い自動車運転免許の切り替えの仕組みを記載したパンフレットをミャンマー語で作成・配布する。				

2018 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住ネパール人のための相談窓口プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人かながわネパール人コミュニティ		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
	昨年開設したネパール人対象の相談窓口を継続し、来日間もないネパール人のコミュニケーション、在留資格、進学、アルバイト、医療などについて相談を受けることで、安心して日本でより良い生活を送れるよう支援する。			

2018 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在住イスラム女性達が健康で安心して自分らしい生活を送るための、同行、訪問支援と交流活動事業		
	団体名	Ayase Muslim Women's Organization		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
綾瀬市で増えつつある在住イスラム女性たちの生活に関わる同行、訪問、相談、情報提供などの支援、交流会や親睦会を実施し、イスラム女性たちが安心して、生き生きとした暮らしが送れることを推進する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2018 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ラオス・タイ人のための日本生活情報セミナーと相談会開催		
	団体名	サバイディ・ラオタイサークル		
	実施期間	2018年10月1日 ～ 2019年9月30日		
綾瀬市寺尾中にあるラオスコミュニティを主として、年6回程度、生活・健康・養育・その他、彼らにとって身近に必要な情報を現地の言葉ややさしい日本語を用いてわかりやすく説明するセミナー及び相談会を実施し、日本での生活が円滑になるよう手助けをする。 ※中間報告の時点(2018/3/31)で活動を休止				

2017 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,217,000
	事業名	アフリカの非電化地域にICT教育機会を創るプロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人Class for Everyone		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
日本でリユースされたパソコン、プロジェクターと、ソーラーパネルを活用して小規模の電源インフラを構築し、タンザニアの非電化地域の学校にICT教育と自然エネルギー電源を創る機会を提供し運用する。				

2017 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥323,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある大学生」たちが、来日間もないフィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を中心に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。				

2017 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥700,000
	事業名	絵から始める外国につながる子どもたちの日本語教育～観察力・論理的思考力・対話力を高める為に～		
	団体名	特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
神奈川県大和市内の小学校を主な拠点として日本語の習得が困難な状況にある「外国につながる子どもたち」を対象に、絵を題材にして子どもたちの観察力を高めることで論理的思考力を引き出し、対話力をつけ、日本語で自信をもって自己表現できるような日本語支援の新たなカリキュラム作り、また、そのためのスタッフ研修を行う。				

2017 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ミャンマー人のための生活相談および支援事業		
	団体名	リンク トウ ミャンマー		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
県内の在日ミャンマー人は少数派であり、多数住む外国人が持つような相互互助コミュニティやミャンマー人に特化した支援団体が存在しない。そのため、言葉や文化の違いから日常生活で困難を抱えるミャンマー人が孤立することがある。一方、日本に移住する外国人増加に伴いミャンマー人の増加も予測されている。そこで、県内に住む在日ミャンマー人を対象とした生活相談・支援事業を行い、彼らが安心して自立した暮らしを営めることを目指す。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2017 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	相談窓口プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法かながわネパール人コミュニティ		
	実施期間	2017年10月1日 ～ 2018年9月30日		
神奈川県内在住のネパール人自身がネパール人を対象とした相談窓口を開設する。ネパール人が抱える課題—医療、在留資格、アルバイト、結婚手続き、進学、就職などについて相談会を週一回実施することで、平和で豊かな多文化共生の地域社会づくりに貢献することを目指す。また国際文化交流の促進にも効果があると考えられる。相談窓口設置から数か月後に効果を調査することで、今後の活動に活かしていく。				

2016 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥367,000
	事業名	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業		
	団体名	わたぼうし教室		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
英語による教科学習支援を、「外国にルーツがある大学生」たちが、フィリピン等の「外国にルーツがある中学生」相当を対象に、横浜市南区で実施し、年齢相応の学力の保障と定着、また居場所づくりを図る。				

2016 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活を向上及び明るい日本社会につながる事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会、家族行事の開催を行う。				

2016 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	南米人コミュニティに対するCAC(Creative Art for Communication)ワークショップ 及びリーダー養成のための全6回のトレーニングコース		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで、英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会において、表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。また、県内の地域で活躍できるコミュニティの次世代リーダーを養成するためのトレーニングを行う。				

2016 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日ラオス人の子どもたちや若い世代へのラオス文化継承と大人への日本での暮らし方を学ぶ機会を提供する事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日本ラオス協会		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
在日ラオス人は日本社会で生活する上で、習慣の違いや文化の理解不足などが原因で多くの問題を抱えている。 親は日々働くことに追われ、日本語を学ぶゆとりがない。他方、日本で生まれた子供たちは、日本文化を学ぶ学校生活の中で成長し、親が母語や母国の文化を伝えることがなく、親子の間には大きな溝が生じている。 そこで、子どもや若い世代が母国語教室や交流を通して文化を学び、大人たちは日本語や日本の暮らし方を勉強することで、問題を少しでも軽減し、解決の機会となることを目的とする。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2016 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国人養育者の地域相互扶助グループの立ち上げと事業化		
	団体名	カムオン・シェシェ		
	実施期間	2016年10月1日 ～ 2017年9月30日		
横浜市瀬谷区において、仲間を助けたい、地域の中で役立ちたいと思う外国人に呼びかけ、通訳・翻訳や同行支援などなどを行い、相互扶助による外国人の地域支え合いグループを立ち上げる。また、当事者同士の関係を強め、次の支援者が生まれる流れをつくり、子育て支援団体と連携しながら地域社会とのつながりを深める。				

2015 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥2,200,000
	事業名	地震の被害を受けた学校のためのラーニングセンターの建設		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2015/11/2 ～ 2016/10/31		
	ネパールカブレ郡マンダルタル村の中で、今年4月25日の大地震の被害に遭った学校に対し、校舎が再建されるまでに使用できる2教室からなるラーニングセンターをネパールNGOのSAGUN a serch for harmony（代表者Dr. Mukta Singh Lama）と共同で建設する。			

2015 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料でいい、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業				

2015 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年3月31日		
地域でニーズが高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2015 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	「土曜寺子屋(ドテラ)」学習支援		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2015 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活の向上及び明るい日本社会につなぐ事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会、家族行事の開催を行う。				

2015 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながりを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、「日本語を母語としない人のための公立高校進学ガイドブック学習会」「日本語・教科学習支援者のための一日講座」といった講座を開催し、支援者を育成するとともに、支援者間の連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。				

2015 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEスペイン語の部屋		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
外国につながる子どもは、本当は母語や母国の文化に親しみたいものの自信がなく、人前で母語を話したり、母国について説明したりすることが億劫になっており、中には母語を失いつつある子どもがいる。一方、家庭では経済的・時間的余裕がなく、母語・母国の文化を学ぶ機会をあまり得られない。ことばの発達には母語の力が多いに影響されていることが明らかになっており、子どもたちが自立した社会生活を送ることができるよう地域で支えていくため、母語・母国の文化を学べる機会を提供する。				

2015 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥199,500
	事業名	南米人コミュニティに対するCAC(Creative Art for Communication)ワークショップWS		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2015年10月1日 ～ 2016年9月30日		
日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで、英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会において、表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。				

2014 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥380,000
	事業名	ブラジル東北部、カノア・ケブラーダ地域における全日制保育園整備プロジェクト		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
ブラジル東北部のカノア・ケブラーダ地域では、急激な観光地化による生活の変化に伴い、治安悪化・ストリートチルドレン・虐待・家庭崩壊などが急増した。こうした状況におかれた人々を対象として、子育てに不安を抱える家族のために全日制保育園の実現を目的として、現地にある既存保育園の整備を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
	日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料でを行い、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業			

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
	地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。			

2014 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥327,000
	事業名	神奈川県における外国籍介護従事者就労定着・支援プロジェクト		
	団体名	学校法人国際学園		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
神奈川県で介護職に就いている定住外国人の就労の安定とEPA介護福祉士を対象とした我が国の介護業務への定着支援事業及びネットワークの構築				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEよみきかせの会		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
外国にルーツを持つ子どもたちは、学習になると分からない・知らない語彙や表現がたくさんある。家庭内で母国語を使用しているケースが多いため日本語の語彙を増やすことに困難が生じている。そのため、教科学習（特に読むこと）を億劫に感じる傾向がある。小学生の子どもたちに対して、読むことの楽しさを感じ、自立的に学習に取り組めるよう、また交流が促進されるよう参加型のプログラムを取り入れた読み聞かせの活動を行う。また今回は、読書後の子どもたちの表現活動や読み手の育成にも力を入れる。				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながりを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、「日本語を母語としない人のための公立高校進学ガイドブック学習会」「日本語・教科学習支援者のための一日講座」といった講座を開催し、支援者を育成するとともに、その連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	マゲーアラル(abakada)・タガログ 一言葉と制度のまなびをとおして交流しようー		
	団体名	カワヤン P.W.C		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年4月30日		
フィリピンの教育制度のことを知らない、あるいは最新の情報がわからないフィリピン出身者にフィリピンの教育制度(日本の教育制度との比較を含む)についての情報を提供するとともに、タガログ語やフィリピン文化の学習を通して子どもたちのアイデンティティ形成を支援し、日本人住民みはタガログ語を学ぶ場を提供し、在日フィリピン出身者との交流会などの開催を通じて学習したことを活かし、地域社会の相互交流を促進する。				

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	在日カンボジア人の日常生活の向上及び明るい日本社会につなぐ事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
	カンボジア出身の保護者は、日々働く事に追われ、日本語を学ぶゆとりがなく、一方で子どもたちは、日本の文化を学ぶ学校生活の中で成長しているため、親子間には大きな溝が生まれがちである。さらに保護者は、日本社会の多くのことを理解できぬまま生活をしているために多くの問題を抱えている。それらの問題を少しでも解決するため、集住地域において、母語教室及び親子交流会、保護者を対象とした学習会・相談会の開催、運動会を行う。			

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥198,000
	事業名	南米人コミュニティに対する表現アートワークショップ		
	団体名	SONRISA		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
	英語、スペイン語、ベトナム語でミサが行われ「救急の会」という団体が外国人のよろず相談機関となっている藤沢カトリック教会で開催される表現アートのワークショップを取り入れた活動。日本社会における外国人住民のストレスは非常に大きく、自尊感情を見失い、問題を複雑化させている。そこで表現アートを取り入れたワークショップを継続的に開催し、個人、家族、コミュニティの各レベルでの力づけを行う。			

2014 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	「土曜寺子屋(ドテラ)」学習支援		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2014年10月1日 ～ 2015年9月30日		
外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。平成24年度に立ち上げられ研修と試行、今年度本格的に活動。				

2013 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥3,326,000
	事業名	フィリピン台風30号被害漁村復興のための住民組織化を基盤とする漁船支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人草の根援助運動		
	実施期間	2014年4月1日 ～ 2014年9月30日		
	2013年11月の台風30号により甚大な被害を受けたフィリピン共和国東サマール州の3村において、漁民組織の強化または結成を支援し、漁民の相互扶助を基盤として、漁船供与を中心とした生計回復を実施する。あわせて女性組織の結成を支援し、女性組織のイニシアティブによる生計回復のための支援を実施する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,250,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2014年4月1日 ～ 2014年9月30日		
地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワーキングを行う。				

2013 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥382,000
	事業名	チベット難民のチベット医学生と青年への自立支援プロジェクト		
	団体名	チベタン・チルドレンズ・プロジェクト		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年1月31日		
ネパール国で暮らすチベット難民、特にチベット医学を目指す学生と青年たちに第三国で自活していける可能性を具体的に示し、そのスキルを身につける手伝いを目的とする。チベット医学生には日本の鍼灸のスキルを、青年たちには介護やあんまのスキルを、ボンポチベット医学校と共同で行う。				

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	在日外国人のための教育・生活・人権などにかかわる伴走型相談・「支援」事業		
	団体名	特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
	日本に暮らす外国人の教育・生活・人権にかかわる(常設型で多言語対応も可能な)相談活動を無料で行い、そこで起こってくる様々な課題を学校や行政など様々な関係機関との連携を通して具体的に解決していく、伴走型相談・「支援」事業			

2013 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥250,000
	事業名	土曜寺子屋(学習支援)		
	団体名	非営利組織「小さな森の学校」		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
外国につながるのある子どもの集住地域において、個別的な学習支援を必要としているが、経済的な理由で塾などに通う機会を得られない小・中学生を対象として、原則的に無償で主要教科の学習支援および相談活動を行う。あわせて、母語と学習言語がちがう子どもの学習支援、スモールステップでの教科指導など、外国につながるのある子どもを含め、学習につまずき悩む子どものニーズに応えられる人材を地域に増やし、多文化共生の学びの場を作っていく。				

2013 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	AJAPEよみきかせの会		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2013年10月1日 ～ 2014年9月30日		
外国にルーツを持つ子どもたちは、学習になると分からない・知らない語彙や表現がたくさんある。家庭内で母国語を使用しているケースが多いため日本語の語彙を増やすことに困難が生じている。そのため、教科学習(特に読むこと)を億劫に感じる傾向がある。小学生の子どもたちに対して、読むことの楽しさを感じ、自立的に学習に取り組めるよう、また交流が促進されるよう参加型のプログラムを取り入れた読み聞かせの活動を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2013 年度	事業区分	多文化共生の地域社会づくり応援事業	助成額	¥200,000
	事業名	外国につながるを持つ中学世代の保護者への情報提供と学習支援者の育成・連携作りプロジェクト		
	団体名	多文化活動連絡協議会		
	実施期間	2013年10月1日	～	2014年6月30日
高校進学に関する情報を必要とする中学世代の子どもを持つ家庭に高校進学の情報を提供し、不安を解消する。また、高校受験後も子どもたちをフォローし、課題について情報共有することにより、子どもたちが抱える課題について社会への啓発にも取り組む。また、日本語・教科学習支援者のための講座を開催し、支援者を育成するとともに、支援者の連携を促進させることで、子どもへの支援の輪を強化する。				

2012 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
	①「たぶんかフリースクールよこはま」における日本語・学習支援事業(継続) ②県立高校15校等への多文化教育コーディネーター・サポーター派遣事業(継続)			

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,559,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、生活再建ができていない山岳地帯の先住民の人びとを対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。				

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,325,000
	事業名	イランイスラム共和国の障害者支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2013年4月1日 ～ 2013年12月31日		
障害者の通勤・通学などの外出困難を解消するため、イランの障害者やNGO・行政が一体となって、日本のバリアフリー技術を学び、まちづくりを進められるようイランのバリアフリー化を支援する。さらに障害者が、身体機能を高め、床ずれなどの合併症を防ぐための自己管理法の習得を支援するとともに、ホームケアの支援システムを構築し、イランの障害者の生活の質の向上と、生活の自立を進める。				

2012 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,500,000
	事業名	集住地域における外国人住民のための相談体制充実事業		
	団体名	多文化まちづくり工房		
	実施期間	2013年4月1日 ～ 2014年3月31日		
地域でニーズが非常に高い言語で、外国人住民の生活をサポートする生活相談と情報発信を行うとともに、そのための人材育成とネットワークングを行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2012 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥450,000
	事業名	教育を通したネパール少数民族のエンパワメント(幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2012年10月1日 ～ 2013年9月30日		
ネパール カブレパランチョーク郡マンガルタール行政村とカルパチョーク行政村を対象地域とし、高校や村人のグループを中心に、「村人主体の地域づくり」を実施する。今年度は新たに協同組合をテーマにした活動を開始し、ムーブメント領域を広げる。地球の木・SAGUN・村の委員会の三者で行う。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,435,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、復興支援も皆無のため生活再建ができない山岳地帯の先住民族の人々を対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥480,000
	事業名	教育を通したネパール少数民族のエンパワメント(幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
ネパール カブレパランチョーク郡マンガルタール行政村を対象地域とし、高校を拠点に教育の質の向上と若者の育成を通じて、「村人主体の地域づくり」の意識を育てる。地球の木・SAGUN(現地NGO)・村の委員会の三者で行う。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,494,000
	事業名	ブラジル東北部の貧しい漁村における、青少年を含めた地域住民への地域子育て事業		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
ブラジル国の貧しい漁村地域において、青少年を含めた地域住民を対象として、地域住民自らが地域で子育てを行う環境を整備し、地域における子育ての意識向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。				

2011 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥750,000
	事業名	イランイスラム共和国の障害者バリアフリー支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2012年4月 ～ 2012年12月		
イランのバリアフリー化を支援し、障害者の通勤・通学などの外出困難を解消するため、イランの障害当事者や行政が一体となって、日本のバリアフリー技術を学び、町づくりに役立て、イランの障害者の生活の質の向上と、生活の自立を進める。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2011 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,999,000
	事業名	在日ブラジル人による情報発信、相談対応および自立のための研修事業		
	団体名	特定非営利活動法人 ABCジャパン		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
	日本語の理解が十分でなく、災害発生時などに情報弱者に陥りやすい在日ブラジル人に対し、正しい情報を発信し不安を軽減し、また相談対応を通じて自ら自分で情報が収集できるような支援を行い、さらに日本での生活がより自立したものになるような研修事業を企画・実施する。			

2011 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2011年10月1日 ～ 2012年9月30日		
	①「たぶんかフリースクールよこはま」における日本語・学習支援事業(継続)			
②県立高校15校への多文化教育コーディネーター・サポーター派遣事業(継続)				

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥899,000
	事業名	フィリピン・ベンゲット州におけるコーヒーのアグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり		
	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
	フィリピンのベンゲット州において、台風の被害を受けた後、復興支援も皆無のため生活再建ができない山岳地帯の先住民族の人々を対象として、森林再生と生活向上を目的として、現地NGOと共同で復興支援を行う。他の先住民族地域の復興と自立支援のモデルとする。			

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥420,000
	事業名	教育を通じたネパール少数民族のエンパワメント (幸せ分かち合いムーブメント)		
	団体名	特定非営利活動法人 地球の木		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
ネパール カブレパランチョーク郡マンガルタル行政村を対象地域とし、高校を拠点に教育の質の向上と若者の育成を通じて、「村人主体の地域づくり」の意識を育てる。地球の木・SAGUN(現地NGO)・村の委員会の三者で行う。				

2010 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,884,000
	事業名	「多文化共生センターかわさき」多文化家族支援事業		
	団体名	多文化共生センターかわさき		
	実施期間	2011年4月 ～ 2012年3月		
2010年9月に設立した「多文化共生センターかわさき」において、地域に在住する外国人家族が安心して生活を送るために必要な情報発信、相談対応を行い、特に防災、医療、教育などの分野での支援活動を行う。また、分野ごとに分断するのではなく多文化家族に対するトータルな支援を実現するため、コーディネーターを配置し、活動の裾野を広げるためのサポーターの登用・育成を行う。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2010 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	イランイスラム共和国における障害者支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会		
	実施期間	2011年4月 ～ 2011年12月		
	イランイスラム共和国のテヘラン・キャラジ地区において、頸髄・脊髄障害のために外出困難や寝たきりの人々を対象として、生活の自立を図り、生活の質の向上を目的として、NGOテヘランせき損協会 (SCIA)と共同で障害者支援を行う。			

2010 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,774,000
	事業名	在日ブラジル人による相談対応および自立のための研修事業		
	団体名	特定非営利活動法人 ABCジャパン		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
経済危機発生後、依然厳しい状況におかれる在日ブラジル人がより安定した生活を送れるように、ブラジル人自らがポルトガル語によるきめ細かい相談対応および情報提供を行う。また自らが情報を収集し、自立した生活を送るための支援を目的とした研修を企画・実施する。				

2010 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,170,000
	事業名	AJAPEスペイン語圏教育相談・学習支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
大和市と、町田市を中心とした地域でのスペイン語圏の児童生徒への教育相談・学習支援をバイリンガルで行う。				

2010 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国につながる子どもへの学習支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2010年10月1日 ～ 2011年9月30日		
	中学を母国で卒業した後に来日したり、学齢超過のため中学に行けない或いは夜間中学へ通う15才～18才の子どもたちで高校進学を希望する子ども向けの学習支援教室「たぶんかフリースクールよこはま」を週3回開設し、日本語を中心とした学習と教科学習を行う。また、そうした子どもたちや保護者向けの相談活動や高校との協働・移行支援を行う。			

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥250,000
	事業名	グアテマラ国における自然資源管理のための先住民族組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
今回のプロジェクトでは、自然保護区設定の計画が進むグアテマラ東部イザバル県において、先住民族コミュニティと地域の住民アソシエーションを対象に、住民主体の自然資源管理、自然保護区管理を実現するための組織強化を目指した活動を実施する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2009 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,442,000
	事業名	在日ブラジル人によるブラジル人相談・自立支援事業		
	団体名	特定非営利活動法人ABCジャパン		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
世界的な金融危機の影響で経済的に厳しい状況に置かれる在日ブラジル人がより自立し安定した生活を送れるように、的確な相談対応、情報提供およびオリエンテーションを行なう。また、在日ブラジル人が置かれた状況について当事者の視点から日本社会に発信するため、映像作品の制作やホームページの整備を行なう。				

2009 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥533,000
	事業名	在日スペイン語圏出身者への学習及び継承言語教育支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2009年10月1日 ～ 2010年9月30日		
町田市民フォーラムを拠点に在日スペイン語圏の人たちに対してバイリンガルでの支援を行う。(子どもへの学習支援、保護者からの教育相談や教師への橋渡し、アイデンティティーの涵養を目的とした継承言語教育や南米文化の学習。)				

2009 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,900,000
	事業名	ブラジル東北部の貧しい漁村における、地域住民への教育支援プロジェクト		
	団体名	光の子どもたちの会		
	実施期間	2010年4月1日 ～ 2011年3月31日		
ブラジル国の貧しい漁村地域において、大きな課題を抱えている青少年を中心とした地域住民を対象として、地域住民自らがよりよい教育の場を提供し、生活の向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。				

2008 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,959,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業(3)		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年9月30日		
急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。				

2008 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥1,997,000
	事業名	ミャンマー サイクロン被害にあった僧院孤児院における「安全な飲料水確保のための給水プロジェクト」ならびに「子どもたちの寮兼シェルター建設プロジェクト」		
	団体名	(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年3月31日		
大型サイクロン「ナルギス」により壊滅的な被害を受けたミャンマー国ヤンゴン管区タンリエン地区の僧院孤児院245人の子どもたちと周辺住民屋区1000人を対象に、「安全な飲料水確保のための給水プロジェクト」と「次のサイクロンに耐える子どもたちの寮兼シェルター建設プロジェクト」を実施することで、一刻も早くライフラインを確保し、衛生環境並びに住環境を改善し、人々が安心して生活できる環境を提供する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2008 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,093,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト(3)		
	団体名	(特活)ソルト・パヤタス		
	実施期間	2009年4月1日 ～ 2010年3月31日		
フィリピン国メロマニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。				

2008 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,544,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援、共生事業(3)		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2009年4月1日 ～ 2010年3月31日		
	これまでの取組を継続・発展させ、地域の先輩フィリピン人が、若いフィリピン人が地域で直面する生活課題ー子どもの学校や病院、近所づきあいーに関する自助・互助の活動の幅を広げ、さらに学校教育とのつながりを強化して、子どもたちを取り巻く学習環境、進路徳章の課題への活動を充実させる。			

2008 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥470,000
	事業名	在日スペイン語圏出身者への進学・就学・学習支援プロジェクト		
	団体名	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会		
	実施期間	2008年10月1日 ～ 2009年9月30日		
主に神奈川県内の在日スペイン語圏の人たちに対して、スペイン語・日本語のバイリンガルでの進学・就学・学習支援を行う。(保護者や教師への橋渡しや、スペイン語や南米文化・日本語や日本の文化のなかで育つ子どもたちが自分に自信を持つための支援を含む)				

2007 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,959,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業(2)		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2007年10月1日 ～ 2008年9月30日		
急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。				

2007 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥2,860,000
	事業名	ソロモン諸島沖地震復興支援事業		
	団体名	(特活)エーピーエスディ(APSD)		
	実施期間	2007年9月1日 ～ 2008年8月31日		
ソロモン諸島沖地震の被災地域であるウェスタン州において、食料自給体制の再構築を目指したワークショップを地域住民対象に実施し、震災後の復興を支援する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2007 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥300,000
	事業名	グアテマラ国における自然資源管理のための先住民族組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
	自然保護区設定計画が進むグアテマラ東部イサバル県において、先住民族コミュニティと地域の住民アソシエーションを対象に、住民主体の自然資源管理、自然保護区管理を実現するための組織強化を目指した活動を実施する。			

2007 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,333,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト(2)		
	団体名	ソルト・パヤタス・ファウンデーション		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
フィリピン国マロニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。				

2007 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,691,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援・共生事業(2)		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2009年3月31日		
	地域のフィリピン人の母親を中心に、自助、互助活動をさらに活性化、孤立し、生活課題を多く抱えたフィリピン人との出会いを強化して生活ネットワークを広げると共に、地域社会への参加活動を拡充し、多文化共生社会への創造に寄与する。			

2007 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,800,000
	事業名	第7回移住労働者と連帯する全国フォーラム・かながわ2008		
	団体名	第7回移住労働者と連帯する全国フォーラム・かながわ2008実行委員会		
	実施期間	2008年4月1日 ～ 2008年12月31日		
	外国籍住民人口の増加に伴い、その人権・生活等の支援の必要も益々大きくなっている。このため全国各地で活動するNGOが隔年に全国フォーラムを開いて啓発と情報交流、アドボカシーとネットワークの強化をはかってきた。2008年には、神奈川でこれを開催する。			

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥556,000
	事業名	サンマルコス県高地における農民組織強化プロジェクト		
	団体名	開発と権利のための行動センター		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
	グアテマラで最も貧しい地域のひとつであり、首都から遠く離れ援助の手が届きにくいサンマルコス県で、地域住民が主体的に組織している地域の農民組織を対象に、農業普及員の問題分析・解決能力の強化を通じて、地域の農業を改善すると共に、地域農業振興のために新規製品の開発などを目指す。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,780,000
	事業名	多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動に関わるスタッフ育成事業		
	団体名	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
急激に増加している日本語理解が不十分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるような体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。				

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,255,000
	事業名	在日ブラジル人の意識化運動、リーダーのネットワークづくりと日本社会への発信		
	団体名	(特活)ABCジャパン		
	実施期間	2006年10月1日 ～ 2007年9月30日		
	現実として定住化が進んでいるが、将来への確実な展望を描けていない神奈川及び日本在住のブラジル出身者が、自身の今後・子どもの教育などに積極的に関わることができるように、情報発信・相談活動を行う。また、日本各地に点在するブラジル人のキーパーソンを結びネットワーク化を試み、日本・ブラジルの諸機関と連携した支援活動ができる体制づくりを目指す。さらに、日本とブラジルの過去～現在の深いかかわりについて日本社会に向けて発信し、これからの多文化共生社会づくりにかかわる基礎をつくる。			

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,160,000
	事業名	在日フィリピン人の地域生活支援・共生事業		
	団体名	カワヤン		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
子育てを中心とした取り組みを基盤として、在日フィリピン人の地域社会参加のための居場所を確保し、地域生活上の相談、援助と交流、共生の事業を展開し、地域社会への参加と発言を促す。				

2006 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,430,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(3)		
	団体名	中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語彙集をつくり、国際教室やボランティア団体と連携を取って、日本語学習を支援する。				

2006 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,010,000
	事業名	フィリピンごみ山周辺地域における教育支援プロジェクト		
	団体名	ソルト・パヤタス・ファウンデーション		
	実施期間	2007年4月1日 ～ 2008年3月31日		
	フィリピン国メトロマニラのごみ山周辺地域において、スカベンジャーの家庭およびそれと同程度に困窮した家庭の子どもに対し、就学・復学の機会の提供を含む教育支援活動を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2005 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥196,000
	事業名	イスラエル・パレスチナNGOとの交流と対話～草の根の活動からみえる紛争地の平和・人権・健康～		
	団体名	日本国際ボランティアセンター (JVC)		
	実施期間	2005年10月1日 ～ 2006年5月31日		
人権と保健医療の視点で活動するNGOの関係者を神奈川に招聘し、市民、NGO関係者、学生などが広く参加できる交流と対話の場を設け、平和・人権・人道支援についての理解を深めるとともに、関連する活動の担い手を育む。				

2005 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国籍母子を主な対象としたステップハウスの運営と地域の外国籍県民支援準備事業		
	団体名	共同の家プラン		
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日		
	DVなどの人権被害を受けた、主に外国籍の女性や子どもたちが、安心して中期的に滞在できる宿泊場所を提供しながら、施設滞後に地域社会で自立して新しい生活を築けるように、日常生活支援や法的支援をする。さらに、地域に住む外国籍母子の利用をも想定した子育て支援及びDV被害の防止に向けた環境づくりを行う。			

2005 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,193,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(2)		
	団体名	(特活) 中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2006年4月1日 ～ 2007年3月31日		
	日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習言語能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語彙集を作り、国際教室やボランティア団体と連携をとって、日本語学習の支援をする。			

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	外国籍母子の自立を図るステップハウスの運営		
	団体名	共同の家プラン		
	実施期間	2004年10月1日 ～ 2005年9月30日		
日本に住み暮らす外国籍女性や子どもたちがDV被害やさまざまな人権被害に遭い、緊急一時避難施設など利用した後、精神的・経済的自立にむけて支援する中期滞在型施設「共同の家プラン」を運営する。				

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥458,000
	事業名	学習言語多言語化に関するプロジェクト(1)		
	団体名	(特活) 中学・高校生の日本語支援を考える会		
	実施期間	2005年4月1日 ～ 2006年3月31日		
	神奈川県内の教科学習についていくための日本語力が不十分な中学・高校生を対象に、学習言語能力の向上を目的として選定された学習言語を中国語・ポルトガル語・スペイン語に訳した語彙集を作り、国際教室やボランティア団体に配布する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2004 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,980,000
	事業名	日本在住難民への個別支援及び神奈川県内の医療機関との連携による難民医療支援		
	団体名	(特活) 難民支援協会		
	実施期間	2005年4月1日 ～ 2006年3月31日		
	神奈川県にある港町診療所との連携により、在留資格などのために十分な医療サービスを受けられない難民への支援を行う。医療以外にも居住、就労、日本語教育などの生活面及び難民認定手続きなどの法的な面についても、聞き取ったニーズに合わせて様々な支援を行う。それらの成果を公表するための報告会や専門家養成のための講座を県内で開催する。			

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	IAPE青少年プロジェクト 南米の若者が調べる・伝える「ニッポンの仕事・学校・社会」		
	団体名	IAPE(外国人児童生徒保護者交流会)		
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年9月30日		
南米出身者が日本における将来について積極的に考える機会を作るため、若者および保護者の教育面での意識向上を目的としたプロジェクトを実施する。				

2003 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	「アガペ交換研修プログラム」25周年記念プロジェクト：実績の調査分析と将来の方向性研究		
	団体名	(社福) 日本キリスト教奉仕団		
	実施期間	2003年10月1日 ～ 2004年9月30日		
「アガペ交換研修プログラム」25周年を迎え、過去の事業の分析、調査、研究を行う。プロジェクトチームを編成し、アジアの障害者福祉の情報収集、過去の研修生の追跡調査、インタビューを通して、今後最も必要と判断される障害者自立援助の方向性を見極める。				

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,320,000
	事業名	日本国内に在住する難民への相談業務及び神奈川県内のネットワークを活用した難民へのサービス提供		
	団体名	(特活) 難民支援協会		
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日		
日本国内に在住する難民への相談を通じて、法的及び生活自立支援を行う。相談会や神奈川県内のNGO、自治体等との連携を通じて、難民が庇護を求めるための情報にアクセスできるようにし、難民が県内で地域に密着したより適切なサービスを受けられるようにする。				

2003 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥530,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス」		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2004年4月1日 ～ 2005年3月31日		
「日本語を母語としない」子どもや若者、保護者、支援者を対象とした高校進学ガイダンスを実施する。また「高校進学ガイドブック」をニューカマーの青年を中心に作成・翻訳・製本し、中学校や支援団体にも配布する。新たに、「多文化サポーター」制度を設け、ガイダンス前後の支援体制を整備する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥776,000
	事業名	インドシナ難民定住者の自立促進に向けた相談活動		
	団体名	(特活)神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	2002年10月1日 ～ 2003年9月30日		
インドシナ難民定住者に対し、学校、職場、家庭、事故、身分資格等、日常生活で起こるさまざまな問題について、相談に応じるとともに、法律的な問題を解決するために法律相談会を開く。必要があれば、関係機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。				

2002 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥2,200,000
	事業名	ルワンダにおける巡回診療による義肢装具製作及び配布		
	団体名	ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
ルワンダ国内に住む内戦・疾病・事故などにより上下肢に障害を受けた人々に対し、義肢装具を製作・配布するための巡回診療を行う。				

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,050,000
	事業名	日本国内に在住する難民への相談業務および神奈川県内の支援ネットワークの構築		
	団体名	(特活) 難民支援協会		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
	避難先である日本において公的な支援が得られず困難に直面している難民に、法律相談と生活自立支援を行う。また、インドシナ難民や外国籍住民への支援実績がある神奈川県内の自治体やNGOとネットワークを構築し、地域から難民保護の発展を促進する。			

2002 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥300,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2003年3月31日		
ニューカマーの子供達の高校進学について、入試の方法・学校の選択・学習の方法・資金・入学後の生活などを翻訳資料を用い、通訳を介して相談会を実施する。				

2002 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥540,000
	事業名	開発教育教材「マジカルバナナ」改訂版制作		
	団体名	(特活)地球の木		
	実施期間	2003年4月1日 ～ 2004年3月31日		
1998年に出版したマジカルバナナをより幅広い層(小学校中学年程度から)に対応できるように改訂する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥550,000
	事業名	「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス		
	団体名	多文化共生教育ネットワークかながわ		
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日		
ニューカマーの子どもたちの高校進学について、入試の方法・学校の選択・学習の方法・資金・入学後の生活などを翻訳資料を用い、通訳を介して相談会を実施する。				

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥780,000
	事業名	インドシナ難民定住者の自立促進に向けた相談活動		
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	2001年10月1日 ～ 2002年9月30日		
インドシナ難民定住者に対し、学校、職場、家庭、事故、身分資格等、日常生活で起こるさまざまな問題について相談に応じるとともに、法的な問題を解決するために法律相談会を開く。必要があれば、関係機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。				

2001 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS (クリアチーフオス)		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
	在日ラテン・アメリカ系住民を対象として、ポルトガル語・スペイン語によるサービスの提供を通じて、HIV感染者・AIDS患者及びその家族への精神・心理・社会的支援を行う。また、HIV抗体検査前後のカウンセリング、ポルトガル語・スペイン語によるエイズ電話相談サービスを通して、より多くのラテン・アメリカ系住民が安心して相談やHIVの検査を受けられるような環境を整備する。			

2001 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥887,000
	事業名	横浜会議一周年記念・国際子ども権利センター設立十周年記念事業『子どもの性虐待対応担い手育成事業』		
	団体名	国際子ども権利センター		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
	2001年12月に横浜で実施された「第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議(横浜会議)」のフォローアップ事業として、子どもの性虐待問題に実績のあるアジアのNGO実践家や専門家を招聘し、交換するシンポジウムを神奈川県内で開催する。			

2001 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,560,000
	事業名	PTA主体によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2002年4月1日 ～ 2003年3月31日		
フィリピン・セブ島のスラム地区にあるブサイ小学校において、口腔保健のモデル小学校を目指し、児童を対象に、PTA主体の地域住民参加による、予防中心の口腔衛生の向上を進める。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2000 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥300,000
	事業名	フィリピン障害者協同組合電算事業部支援活動		
	団体名	(社福) 日本キリスト教奉仕団		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2001年3月31日		
	同団体で研修を受けた技術者が所属するフィリピン障害者協同組合電算部門に、日本から技術者を派遣し、日本での研修の成果が現地の状況下で活かせるよう技術指導を行うとともに、同部門が事業として成り立つよう、運営方法などソフト面の支援を行う。			

2000 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥630,000
	事業名	移住労働者のための労働法学習会および各国語ホームページ作成事業		
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2001年9月30日		
移住労働者の互助組織作りの一環として、日本の労働法の基礎知識と労働トラブルに遭った場合の解決法とを学ぶ労働法学習会を開催する。				

2000 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,060,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と保護者・教員・市民のコミュニティ作り		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会(IAPE)		
	実施期間	2000年10月1日 ～ 2002年9月30日		
主に横浜市鶴見区に在住する南米出身の日系人児童生徒を対象として、学校内交流会や「沖縄へルーツを探索の旅」、母語教室を開催し、アイデンティティ確立の支援を行う。また、保護者・教員を含めたネットワーク作りに協力する。				

2000 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,900,000
	事業名	PTA主体の住民参加によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
フィリピン・セブ島のスラム地区にあるブサイ小学校において、口腔保健のモデル小学校を目指し、児童を対象に、PTA主体の地域住民参加による、予防中心の口腔衛生の向上を進める。				

2000 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,350,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS (クリアチーフォス)		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
	在日ラテン・アメリカ系住民を対象として、ポルトガル語・スペイン語によるサービスの提供を通じて、HIV感染者・AIDS患者及びその家族への精神・心理・社会的支援を行う。また、HIV抗体検査前後のカウンセリング、ポルトガル語・スペイン語によるエイズ電話相談サービスを通して、より多くのラテン・アメリカ系住民が安心して相談やHIVの検査を受けられるような環境を整備する。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

2000 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥450,000
	事業名	在日フィリピン人を対象とした自助グループづくり支援と帰国後の母国社会への再統合をスムーズに行うためのリ・インテグレーション・プログラムの実施		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
	日本に在住するフィリピン人の自助グループづくりを支援し、グループで移住労働の経験を分かち合いながら共同貯蓄をし、共同のプロジェクトを進めることにより、移住労働に頼らなくてもよい社会づくりを目指す。			

2000 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	第7回日韓合同授業研究会～日韓・東アジアの授業と教育を交流する会		
	団体名	日韓合同授業研究会		
	実施期間	2001年4月1日 ～ 2002年3月31日		
東アジアの教育の交流と相互理解を図るために、韓国を中心とした東アジアの教員、市民、学生を招き、実際に行われている授業について、報告、検討、交流を行う。また、日本理解のためのフィールドワークを行う。				

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,150,000
	事業名	ルワンダにおける義肢装具製作及び技術者育成プロジェクト		
	団体名	ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
ルワンダにおいて、内戦、疾病、事故等による障害者に対し、技師装具を製作し提供するとともに、ルワンダ人の義肢装具士を育成する。				

1999 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,275,000
	事業名	在日ラテン・アメリカ系住民のHIV感染者・AIDS患者支援及びHIV抗体検査前後のカウンセリングと電話相談事業		
	団体名	CRIATIVOS (クリアチーヴォス)		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
ラテン・アメリカ諸国出身のHIV感染者を対象とした、カウンセリング、通訳、病院や保健所への付添い、自助グループの支援などを行う。				

1999 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥122,000
	事業名	体験版サヘルセミナー「身体で学ぶ砂漠化防止手法」の開催		
	団体名	サヘルの会		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
市民による砂漠化防止活動の活性化をねらいとして、乾燥地における植林の手法についての体験型のセミナーを開催する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1999 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥962,800
	事業名	インドシナ難民定住者の自立に向けた相談活動		
	団体名	神奈川県インドシナ難民定住援助協会		
	実施期間	1999年10月1日 ～ 2000年9月30日		
	県内のインドシナ難民を対象として、日常の生活相談に応じるとともに、法律相談会を実施する。また、必要に応じ、関係各機関に付き添い、書類手続きや通訳の補助を行う。			

1999 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	PTA主体の住民参加によるブサイ小学校の口腔衛生支援プロジェクト		
	団体名	オーラル・ハイジニスト神奈川		
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2003年3月31日		
フィリピン・セブ島のスラム地区の小学校の児童を対象として、PTA主体の住民参加による予防中心の口腔衛生の向上を進め、口腔保健のモデル小学校の実現を目指す。				

1999 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,045,000
	事業名	多文化・多言語混成団地におけるコミュニティ形成事業		
	団体名	横内プロジェクト		
	実施期間	2000年4月1日 ～ 2000年12月31日		
多文化・多言語化が進む平塚市横内団地において、子ども教室、生活相談、ミーティング等の活動が続けることにより、多文化共生のコミュニティの実現を目指す。				

1999 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥1,500,000
	事業名	東ティモール緊急支援プロジェクト		
	団体名	シェア＝国際保健協力市民の会		
	実施期間	2000年1月1日 ～ 2000年3月31日		
東ティモール・デリの診療所に医師、助産婦を派遣し、一般診療に当たるとともに、山間地域への巡回診療を行う。また、現地助産婦の訓練への協力、不足している医薬品の寄贈を行う。				

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための緊急避難施設の運営および相談活動		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1998年10月1日 ～ 1998年9月30日		
	日本に定住する外国人女性が、人身売買、強制売春、家庭内暴力、性暴力などの被害や家庭内のさまざまな問題を抱えて行き場を失ったときに、緊急に避難するためのシェルターを用意し、法律、医療、福祉などの面での自立のための支援を行う。また、電話と面接により母国語での相談活動を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,200,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティ確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1998年10月1日 ～ 1999年9月30日		
県内に在住する南米出身の日系人児童生徒を対象として、母語保障教室や「沖縄へルーツを探る旅」を実施するとともに、外国人児童生徒やその保護者と日本人との地域交流会を開催する。				

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥450,000
	事業名	滞日外国人の人権擁護および自立支援に向けた相談活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年4月30日		
滞日外国人の人権擁護と自立支援に向けて、電話・来所・出張による相談活動を行う。また、『移住労働者生活マニュアル』の韓国語版を制作する。				

1998 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	国際連帯互助組織作りの一環としての労働法学習会およびミニコミ誌発行事業		
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年3月31日		
移住労働者の互助組織を作ることをねらいとして、労働法の学習会、ミニコミ誌の発行を行う。				

1998 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥220,000
	事業名	滞日外国人を対象とした相談活動の質的向上のためのスタッフ研修およびボランティア養成講座		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1999年4月1日 ～ 2000年3月31日		
滞日外国人を対象とした相談活動の体制を強化するため、スタッフ間で情報、ノウハウを共有するための会議を開く。また、ボランティアの養成講座を開催する。				

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥3,000,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための緊急避難施設の運営及び相談活動		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年11月30日		
人身売買、家庭内暴力の被害などにより行き場を失った外国人女性が緊急に避難するための施設を運営し、法律相談、医療、福祉行政への手続き支援を行う。また、出身国別の「生活情報ハンドブック」を作成する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥375,000
	事業名	日本で生活する外国人女性のための相談室開設及び広報活動の充実		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年9月30日		
緊急避難施設をより安全で充実したものにするために、事務所・相談室を独立させる。また、機関紙の発行や定例勉強会の開催を通じて支援者の拡大と安定した財政基盤作りを図る。				

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,170,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティー確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1997年10月1日 ～ 1998年9月30日		
横浜市鶴見地区における、沖縄にルーツを持つ南米出身の日系人児童生徒を対象とした母語教室、「沖縄へルーツを探る旅」、日本人との交流事業を実施する。				

1997 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥540,000
	事業名	ケニア・ガーナ・日本の三カ国の高校生による技術・文化交流プロジェクト※継続事業		
	団体名	アフリカ・グローバル・リンクプロジェクト神奈川 (AGLP神奈川)		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1998年9月30日		
発展途上国で必要とされる小規模発電、水の浄化、ゴミ処理の方法及び資源化、栄養改善をテーマに、ケニア、ガーナ、日本の高校生が研究し、ケニアにおいて互いの研究成果の交換と交流行う。				

1997 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,370,000
	事業名	ルワンダにおける義肢製作・技術者育成		
	団体名	ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日		
	首都キガリを拠点に義肢装具を製作するとともに、ルワンダ人義肢装具士を育成する。			

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,150,000
	事業名	南米系滞日外国人の人権擁護および自立支援に向けた相談活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日		
	南米系滞日外国人を対象とした電話・来所・出張相談活動を通じた人権擁護と自立のための支援を行う。			

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1997 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥650,000
	事業名	ベトナム語ニュースレター「BAN TIN THAN HUU」の発行		
	団体名	かながわベトナム親善協会		
	実施期間	1998年4月1日 ～ 1999年3月31日		
少数者であるために情報が限られている日本在住のベトナム人を対象にベトナム文化の継承、日本の生活情報の提供を目的にベトナム語のニュースレターを発行し、在住ベトナム人が積極的に社会に参加できるようにする。日本人との情報交換の場になるよう、内容を改善する。				

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	滞日外国人女性の生活・緊急・帰国相談業務		
	団体名	かながわ女のスペース“みずら”		
	実施期間	1996年11月1日 ～ 1997年10月31日		
滞日外国人女性の結婚、出産、離婚、労働などの生活全般や、緊急保護、帰国希望に係る相談活動				

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,600,000
	事業名	ルワンダにおける義肢装具製作・技術者育成と障害者に対するリハビリテーション実施		
	団体名	ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト		
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1997年12月31日		
	①ルワンダ国内で義肢装具を製作し、障害者に提供する ②技術者を派遣し、義肢装具製作技術を提供しながら 現地の技術者を育成する ③障害者に対するリハビリテーションの実施と社会復 帰支援 ④ルワンダ国内の障害者どうし及び国外の障害者との 交流の推進			

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥440,000
	事業名	さをりプロジェクト96		
	団体名	タイ国障害児のための財団横浜連絡事務所		
	実施期間	1996年10月1日 ～ 1998年4月30日		
日本の福祉施設で広く活用されている手織「さをり織」をタイへ移出して、障害児者のリハビリテーションや社会参加に役立たせるために、インストラクターを派遣し、障害者自身を指導者として養成するとともに材料調達や販路などの開拓を行う。				

1996 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥404,000
	事業名	PPF奨学生によるスラム・コミュニティでの自立教育活動		
	団体名	パグアーライ・ナン・プソ基金日本事務所 (PPF)		
	実施期間	1997年6月1日 ～ 1998年5月31日		
同会の奨学生とその親を核として行われる聖書講読等の学習会や児童教育、町内美化等のコミュニティ活動を支援する。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥620,000
	事業名	「BAN TIN THAN HUU」(ベトナム語の親善ニュースレター)の発行		
	団体名	かながわベトナム親善協会		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
神奈川在住フベトナム人の手でベトナム語のニュースレターを発行し、日本在住ベトナム人が日本社会に積極的に参加する上で必要な情報を提供する。				

1996 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	国際連帯互助組織作りの一環としてのミニコミ誌発行事業		
	団体名	カラバオの会(寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
ミニコミ誌の発行や労働法の学習会を通じ、横浜市中区寿地区の外国人労働者らが、自らの力でさまざまな問題を解決するためのネットワークを築く。				

1996 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	ケニア、ガーナ、日本の三国の高校生による技術文化交流プロジェクト		
	団体名	アフリカ・グローバル・リンク・プロジェクト神奈川 (AGLP神奈川)		
	実施期間	1997年4月1日 ～ 1998年3月31日		
	発展途上国で必要とされる小規模発電、水の浄化、ゴミ処理等をテーマに、3国の技術高校生が技術開発に取り組み、横浜、海老名等で交流会を開いて、創意工夫を交換すると同時に相互理解を深める。			

1995 年度	事業区分	緊急支援	助成額	¥5,000,000
	事業名	阪神大震災外国人被災者緊急支援活動		
	団体名	阪神大震災外国人被災者支援プロジェクトかながわ		
	実施期間	1995年2月5日 ～ 1996年3月31日		
阪神大震災での外国人被災者を対象とした生活支援・相談活動、外国人支援活動の担い手育成、外国人の被災状況の調査及び報告書の作成				

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,800,000
	事業名	ソン・ポン村小学校建設プロジェクト		
	団体名	カンボジア教育支援基金		
	実施期間	1995年7月1日 ～ 1995年11月30日		
カンボジアの農村における小学校の建設				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥600,000
	事業名	カンボジア難民による伝統文化と母国語の継承プロジェクト		
	団体名	在日カンボジア難民協会		
	実施期間	1995年7月1日 ～ 1996年3月31日		
主に県内のカンボジア難民を対象とした母国語教室ならびに民族舞踊の教室の運営				

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥531,500
	事業名	在留外国人への医療相談、通訳派遣等の支援事業		
	団体名	エスペランサの会（在留外国人の医療問題を考える市民の会）		
	実施期間	1995年10月1日 ～ 1996年3月31日		
在留外国人の医療支援のための通訳、医師による医療相談、電話相談など				

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥240,000
	事業名	在留外国人の医療支援をするための専門性を高める研修等活動充実事業		
	団体名	エスペランサの会(在留外国人の医療問題を考える市民の会)		
	実施期間	1995年10月1日 ～ 1996年3月31日		
在住外国人を対象とした医療相談活動のためのスタッフのスペイン語研修、相談施設の維持運営等				

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥200,000
	事業名	児童、生徒、及び一般市民を対象とした国際理解教育		
	団体名	国際理解教育研究会		
	実施期間	1996年1月 ～ 1996年12月31日		
おもに小中学生を対象として、外国人と日本人ボランティアがペアで行う、国際理解教育プログラムの出前。ゲスト(外国人)の国の挨拶、自然、文化、ゲームなどを紹介する。				

1995 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥500,000
	事業名	フィリピン共和国・都市スラム地域における奨学金プロジェクト		
	団体名	パグアーライ・ナン・プソ基金日本事務所		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1997年5月30日		
フィリピンのスラムの大学生、高校生、職業訓練校生への学資援助に係る、奨学生、親、コミュニティを対象としたセミナー等の開催				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥600,000
	事業名	日本で生活する外国人女性の相談・シェルター活動、及び情報提供・啓発プロジェクト		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1996年11月30日		
滞日外国人女性の離婚や子供の国籍・認知等に係わる法律相談				

1995 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	スタッフの専門性と相談体制の充実プロジェクト		
	団体名	女性の家“サーラー”		
	実施期間	1995年12月1日 ～ 1996年11月30日		
①ボランティア養成のための研修会				
②スタッフの専門性を高めるためのスキルアップ講座				
③ケースワーカーのためのカウンセリング				

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,500,000
	事業名	滞日外国人女性の生活・緊急・帰国相談業務		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1995年11月1日 ～ 1996年10月31日		
	滞日外国人女性の結婚、出産、離婚、労働などの生活全般、及び緊急保護、帰国希望に係る相談を行う。			

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	神奈川県内における移住労働者の自立及び相互扶助に向けた教育活動		
	団体名	横浜教区滞日外国人と連帯する会		
	実施期間	1996年4月1日 ～ 1997年9月30日		
滞日フィリピン人女性らによるグループ学習、相互扶助活動。香港のアジア移住労働者センターの例に学びつつ、移住労働者の組織化、意識改革を通じて、「出稼ぎ」の根本原因となった自国の貧困問題を解決するための方法を探る。				

1995 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥1,000,000
	事業名	外国人児童生徒のアイデンティティー確立の支援と外国人と日本人の地域交流会		
	団体名	外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)		
	実施期間	1996年4月1日 ～ 1997年3月31日		
横浜市鶴見区潮田地区における、沖縄にルーツを持つ南米出身の日系人児童生徒を対象とした母語教育や、夏の「沖縄へルーツを探る旅」の実施、ならびにこの地区に住む外国人児童生徒保護者等と日本人との交流事業。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1995 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥750,000
	事業名	ケニア共和国ナイロビ周辺における高校生の技術文化交流プロジェクト		
	団体名	AGLP学校ネットワーク日本・神奈川グループ		
	実施期間	1996年3月1日 ～ 1996年9月30日		
ケニア、ガーナ、日本の三国の技術高校生による学習交流。昨年のガーナに続き、今回は、ケニアで必要とされている、小規模発電や水の浄化などのテーマに、技術高校生のレベルで可能な、手軽に導入できる実用的な技術の開発に取り組む。神奈川県内の4校が参加する。				

1994 年度	事業区分	国内協力	助成額	¥2,124,710
	事業名	滞日外国人女性の生活相談、緊急保護、帰国支援		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1994年9月1日 ～ 1995年8月25日		
日本国内で売春を強要されるなど、困難に直面している外国人女性の保護、帰国援助。滞日外国人女性の結婚・離婚、出産、職場のトラブル等の生活相談。				

1994 年度	事業区分	団体活動充実	助成額	¥500,000
	事業名	滞日外国人女性の相談活動の専門性を高めるプログラム		
	団体名	かながわ・女のスペース“みずら”		
	実施期間	1994年9月1日 ～ 1995年8月25日		
	滞日外国人女性をめぐるトラブルの急増と多様化に対応するために、法律、諸制度にかかわる最新の専門知識を相談員が学ぶための研修会を実施する等、組織力の強化を図る。			

1994 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,000,000
	事業名	AIDSメモリアルキルト 1994 インターナショナル・ディスプレイ/横浜		
	団体名	メモリアル・キルト・ジャパン インターナショナル・ディスプレイ部会		
	実施期間	1994年6月1日 ～ 1994年8月31日		
AIDSメモリアルキルト(AIDSによる死亡者の記録)の展示と、海外の活動家らを招いての情報交換、ネットワークの形成。第10回国際エイズ会議 へ向けての市民の手によるプレ・イベントでもある。				

1994 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥335,000
	事業名	タイの障害者を対象とした「さをり織り」の技術指導		
	団体名	タイの障害児のための財団横浜連絡事務所(FHCY)		
	実施期間	1994年12月 ～ 1995年6月		
タイの障害児が通うデイケアセンターに「さをり織り」の織り機と技術指導を提供し、子どもたちの訓練向上と、障害児の自己表現や能力の開発に対する親や社会の理解を深める。タイの障害者を対象とした「さをり織り」の技術指導等。				

かながわ民際協力基金 助成団体一覧

2023年2月1日 時点

＝内容は申請・助成決定時のもの＝

1993 年度	事業区分	担い手育成	助成額	¥1,900,000
	事業名	開発教育ビデオ作品「希望への使者」その製作と啓発活動		
	団体名	市民グループ・地球家族の会		
	実施期間	1994年4月1日 ～ 1995年3月		
	ノーベル平和賞受賞者リゴベルタ・メンチュウ女史が来日した際の映像記録をビデオ教材としてまとめ、それを利用した人権擁護のための啓発活動を行う。			

1993 年度	事業区分	海外協力	助成額	¥1,923,000
	事業名	カンボジア王国への教材援助として「書き方ノート」を送るプロジェクト		
	団体名	東南アジア文化支援プロジェクト		
	実施期間	1994年5月1日 ～ 1994年9月30日		
	カンボジアの識字教育のため、「書き方ノート」を作成(増刷)し、現地の幼稚園、小学校、孤児院、寺院、NGOの成人識字教室等に配布する。			